

冷熱衝撃装置(TSA-xx2)

Q: 停電復帰動作設定を教えてください。

【型式】TSA-42EL-A, TSA-72EL-A, TSA-102EL-A, TSA-202EL-W, TSA-302EL-W,  
TSA-72ES-A, TSA-72ES-W, TSA-102ES-W, TSA-202ES-W, TSA-72EH-W

A: 以下の通りです。以下はユーザーズマニュアルの抜粋です。

## 第4章 管理設定

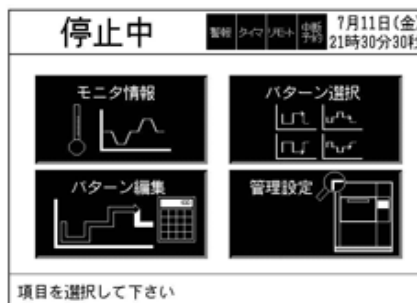
### 4.8 環境設定

装置運転中の動作設定、画面設定などを行います。

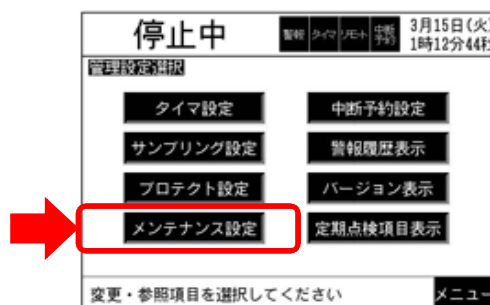
#### 4.8.1 メンテナンス項目を選択する

手順 1. メニューが表示されている状態から管理設定モードにします。

**管理設定** を押してください。



2. 管理設定選択画面から**メンテナンス設定**を選択します。



3. ユーザーパスワードを入力します。  
 文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。  
 パスワードが設定されていないときは、この画面は表示されません。手順4に移ります。



4. メンテナンス設定選択画面になります。環境設定を行ってください。



**【メンテナンス項目】**

1. 通信環境設定
  2. 制御到達レンジ設定
  3. センサ校正
  4. アナログ出力設定
  5. 装置詳細設定
  6. 予熱・予冷設定
  7. 運転条件設定
  8. 日付・スクリーン設定
  9. ユーザーパスワード登録
  10. メーカーメンテナンス
- (当社サービス担当者が各種調整を行うために使用しますので、お客様はご使用にならないでください。)

## 第4章 管理設定

### 4.8.6 装置詳細設定

#### ⚠必ず実施(⚠注意)

- 電源周波数の設定は必ず装置が接続されている一次側電源に合わせて設定してください。  
電源周波数設定が正しくないと、温度下降不良、温度の乱れの原因となります。

停電復帰動作設定、装置電源遮断設定、電源周波数設定を行います。

- 手順 1. メンテナンス設定選択画面から[5] (装置詳細設定) を選択します。



2. 停電復帰動作設定を行います。  
停電が発生した後の復帰動作について設定します。
- 電源(切)**：停電復帰後はパネル電源(切)の状態にします。
  - 運転継続**：停電復帰後は停電発生前の運転状態を継続します。  
停電発生前に行っていたさらし状態を初めから開始します。
  - 乾燥後停止**：停電復帰後は停電発生前の運転状態にかかわらず乾燥運転を行い、装置を停止させます。
3. 装置電源遮断設定を行います。  
試験終了条件で、停止または除霜後停止、乾燥後停止、常温後停止のいずれかを選択している場合に有効です。
- 有効**：試験終了後に選択している終了条件で運転を行った後に、約10分後に主電源スイッチから全電源を遮断します。
  - 無効**：装置電源遮断機能は無効です。

4. 試験終了時のブザー音設定を行います。

鳴らす : 試験が終了し停止状態または準備運転状態になるとブザーが断続音で30秒間鳴ります。

鳴らさない : 試験が終了し停止状態または準備運転状態になってもブザー音は鳴りません。

5. 電源周波数設定を選択します。

接続する一次側電源に合わせて選択してください。

**お願い** | 電源周波数設定は主電源スイッチをONするときに変更されます。電源周波数設定の選択を変更した場合、必ず主電源スイッチをOFFにしたあと、再度ONにしてください。

**参考** | 装置電源遮断設定で  有効 を選択している場合は、試験終了時のブザー音設定で  鳴らす を選択してもブザーは鳴りません。

6. 中断予約で中断した場合の自動再開設定を行います。

しない : 自動では試験を再開しません。

する : 中断状態で設定時間以上経過した場合、自動的に試験を再開します。

7. 中断予約内容の自動リセット設定を行います。

しない : 中断予約状況および中断カウンタ値の自動リセットは行いません。

する : 試験パターンの変更および残サイクル取り消し時に中断予約をすべて無効にし、中断カウンタ値をすべてリセットします。